

ラベルニュース

No380

東京都ラベル印刷協同組合
☎111-0051 東京都台東区蔵前 4-16-4

平成 28 年 5.6 月合併号
編集:広報・情報システム委員会
TEL(3866)4561 FAX(5821)6443

組合創立 50 周年記念式典盛大に開催

ご来賓、組合員、協賛会など 100 名が参加



50 周年記念式典で挨拶する平山理事長と蔵前警察から授与された感謝状



第五十回通常総会も無事に終了
組合の原点に返り新たな出発を誓う

組合創立五十周年記念式典と懇親会が五月二十四日(火)午後六時より日暮里の「ホテルラングウ」に於いて、ご来賓、組合員、協賛会、報道関係など約百名が参加して盛大に開催されました。

組合は昭和四十一年九月に、わずか十九社で発足以来、今年で五十周年の佳節を迎えることが出来ました。この五十年の間には様々な紆余曲折がありました。歴代の九人の理事長を初めとする組合役員や組合員、協賛会の方々のご理解とご協力により、今日では業界をリードする組合にまで成長しました。記念式典は本間専務理事の司会で、初めにご来賓の紹介があり、北海道を除く各協同組合の理事長もご来賓としてご出席いただきました。挨拶に立った平山理事長は「昭和四十一年にわずか十九社で発足した当組合は、戸塚、池田、日野、栗原、池田、渡邊、弓納持の各歴代理事長の労苦無くしては今日有り得ませんでした。業界はいまだ変な時期にありますが、決して業界の将来は悲観したものではないと思います。形を変えた新たな需要が出てきており、我々の努力次第では新たな市場が期待できると思えます。」

これだけたくさんの組合員、会友、そして協賛会の方々がいらつしやる訳ですから、どうかこれからも英知を結集して、この危機を乗り越えていこうではありませんか」と、新たな団結を呼びかけました。続いて表彰式に移り、初めに三月末に「交通安全ス

テッカー」一万五千枚を蔵前警察署と蔵前交通安全協会に寄贈したことに對して、蔵前警察署と蔵前交通安全協会から組合に感謝状が贈呈され、堀井修交通安全協会会長から平山理事長に授与されました。

続いて「交通安全ステッカー」作成に際して、材料を提供して下さったリントックと印刷に協力して戴いたヤマックスの二社に對して組合から感謝状と記念品が贈呈されました。

さらに組合功労者と協賛會に對する表彰が行われ、組合特別功労賞に栗原延行常任顧問(シーレックス)、組合功労賞に渡邊正一顧問

(トワタックス)、山本進平相談役(山本ラベル印刷)の二人に賞状と記念品が授与されました。

また、長年組合運営にご協力頂いた協賛会員、恩田製作所、リントック、山崎ゴム、東京タック、ゼネラルタック、岩崎鉄工、サンワコーケン、森下製版、新タック化成、マルウ接着、志機(当日欠席)の十一社に對して賞状と記念品が授与されました。

受賞者を代表して山本進平氏が謝辞を述べた後、ご来賓の東京都中小企業団体中央会の橋北隆総務課長、全日本シール印刷協同組合連合会の田中浩一会長、東京シール・ラベル協賛會の大内昭彦会長がそれぞれ祝辞を述べ、式典は無事終了しました。

引き続き懇親會に移り、協賛會の恩田博副会長の音頭により出席者全員で乾杯し、和やかな歓談となりました。

今回は受付で熊本県大地震の義援金を集める募金箱が置かれ、参加者が義援金を募金箱に入れ、懇親會の

最後に当組合の本堂誠理事會から九州の濱崎順一理事長に七万五千七百五十二円が手渡され(写真)、壇上には出席した各協組の理事長が上がり一日も早い復興を祈りました。

濱崎理事長は「今回の地震では熊本組合員を初め、数件の組合員が大きな被害を受けましたが、いち早く機械メーカーや、タック紙メーカーなどが駆けつけてくださり、また、各組合や

青年部の方々から励ましやお見舞いを頂き、ありがとうございます。また今日はこうして義援金も頂き、これを現地の組合員にお渡ししたいと思えます。十一月には沖縄で年次大会を開催しますが、ここにも多くの組合員の方々に参加していただければと思っております」と感謝の言葉を述べました。

参加者は五十年という長きに亘る組合の歴史に思いを馳せ、思い出話に時を忘れていたようでした。

午後八時過ぎに渡邊正一顧問により、景気よく三本締めで中締めが行われ、散

会いたしました。



百名が和やかな歓談を



恩田博氏の音頭で乾杯

第五十回通常総会を開催

二十年ぶりの賦課金見直し承認

第五十回通常総会は、五月二十四日(火)午後四時より、日暮里の「ホテルラングウッド」に於いて開催され、各議案がすべて満場一致で可決承認されました。

本堂誠理事の司会で定数を満たしているため総会は設立する旨が宣言され、議長に渡邊正一顧問を選出して議案の審議に入りました。

第一号議案・平成二十七年年度事業報告及び決算関係書類承認の件は、本間敏道専務理事が原案を朗読し、続いて森田賢理事が監査報告(代理)を行い、満場一致で可決承認されました。

第二号議案・平成二十八年年度事業計画、収支予算並びに経費の賦課及び徴収方法決定の件では、本間専務理事が事業計画と収支予算案を朗読し、経費の賦課及び徴収方法について、組合財政ひっ迫の折り、賦課金を二十年ぶりに見直すこと

組合員の技術向上のために、シール・ラベルコンテストへの積極的な出品誘いや、いま組合員が最も困っていること、また最新の技術の紹介のための技術研修会を開催する。

3. 研修委員会

組合が主催する技術研修会、経営セミナー、研修旅行など各種研修について企画を担当、経営者、従業員を対象としたスキルアップを図っていく。

4. イベント委員会

業界の恒例行事度なったラベル関連ミニ機材展を初め、組合研修旅行など組合のイベント行事を他の委員会と共同で実施していく。

平成二十八年度事業計画

1. 拡大委員会

組合員の減少に歯止めを掛けるため、協賛会等にも全面的に協力を仰ぎ、非加入業者に対して組合行事へ招待し、組合の実態を知ってもらい、組合加入に繋げる活動を実施する。

2. 技術委員会



第50回通常総会も無事に終了

青年部の平成二十八年度第三十二回通常総会は、五月二十日(金)午後六時半より、上野の「グリーンパーク」に於いて開催されました。

総会は飯村健理事の司会で議長に藤井崇徳部長を選出し、第一号議案・平成二十七年年度事業報告(藤井部長)、第二号議案・平成二十七年年度会計報告(北島國芳理事)、第三号議案・平成二十七年年度監査報告(北島憲高理事)、第四号議案・平成二十八年年度事業計画案(藤井部長)、第五号議案・平成二十八年年度予算案(弓納持理事)の各議案を満場一致で可決承認しました。

青年部が第32回通常総会

昨年度に引き続き<起業>
をテーマに変化に対応

引き続き懇親会に移り、藤井部長が「本年度も昨年に引き続き“起業”をテーマに変化に対応できる力を養いたい」と挨拶しました。

この後平山良一理事長、正札シール組合と神奈川県シール組合の青年部長がそれぞれ祝辞を述べ、本間敏道専務理事の音頭で乾杯しました。

事業方針は次の通り。

- ① 青年部の活動促進部員相互の交流
- ② 他協組青年部との研修及び交流
- ③ 定期的な勉強会・研修会の開催
- ④ 印青連・中央会を通じて同業種、異業種との交流



青年部も第32回総会で各議案を可決承認

作された製品の普及を推進するために、「優秀技術認定工場」の指定をして業界の活性化を図る。

⑥ 全国会員名簿に記載してリリースしてPR

② 優秀技術認定工場の指定によって「差別化」を図り「ステータス」を確立する。

③ 優秀技術認定工場の指定によって地域のリーダーシップとモチベーション向上を図る

④ 認定期間
受賞認定の翌年1月から2年間。

⑤ 費用負担
登録・更新料として30,000円（2年更新）を申し受けます。

（右は優良工場認定証）

全日本シール印刷協同組合連合会 「技術優良工場認定制度を創設」

全日本シール印刷協同組合連合会（会長田中浩一）は、平成二十八年度事業の一つとして、「技術優良工場」の創設を四月十八日開催の同理事会にて承認

して平成二十八年度より認めるとともにその技術を用いて製造された製品の普及を推進するために、「優秀技術認定工場」の指定をして業界の活性化を図る。

① 優秀な技術者を輩出する
② 認定工場専用マークの付与
③ 認定工場専用マークの使用許可
④ 連合会ホームページで紹介

① 認定工場専用ネームプレートとの付与
② 認定工場専用マークの付与
③ 認定工場専用マークの使用許可
④ 連合会ホームページで紹介

・認定工場一覧（地図アプリでの紹介など）
・認定工場専用専用サイトを作成

⑤ 業界紙に「技術優良工場」認定制度の創設について



第26回シール・ラベルコンテスト

7月20日联合会必着分のみ 自社の技術レベル知る意味で

全日本シール印刷協同

組合連合会主催の「第二十
六回シール・ラベルコンテ
スト」の応募が今年も開始
されています。

■応募部門…自由課題①

⑦

①レタープレス印刷部門
(平圧式凸版印刷機)

②レタープレス印刷部門
(円圧式・輪転または間歇
式凸版印刷)

③オフセット印刷部門

④複合印刷部門(2機種以
上の印刷機または加工機を
使用)箔押し・エンボス加
工など。箔・エンボスの
面積が全体の10%以下の

場合は他の部門へのエント
リーができません。コール
ド箔使用の場合はその旨、
明記のこと。

⑤デジタル印刷部門(イン
クジェット・レーザープリ
ンタ他)

⑥その他の部門(シルクス
クリーン・フレクソ・グラ
ビア等、①②⑤に該当しな
い場合)

⑦アイデア開発部門(機能
性・新規性・創造性をアピ
ールする作品)

機種・版式・通し回数等
は一切問いません。

■応募部門…規定課題⑧

⑨

⑧レタープレス(平圧式凸
版印刷)

使用原紙 銀消ホイル紙。

メーカー・セパレータは問
いません。一般的な銀消ホ
イルを貼り合せた紙でホイ
ルの厚みが μm 以下のもの。

蒸着ホイル紙及びホイルの
厚いものは禁止します。

刷り色 墨・白・えんじ色

⑨色刷り。別途白とエンジ
色を刷り重ねた色見本を応
募要項のチラシと共に配布
します。その色見本と比較
して審査します。

通し回数 一回 白を乾か
してからえんじ色を刷るこ
とは禁止します。

ウエットな状態で刷り重ね
てください。またえんじ色
に白を混ぜて調色すること
も禁止です。えんじ色の下
には全て白が入ります。墨

は全て毛抜き合せとします。
(ご注意・恩田150型標準
3色ローラーの場合、1色
目が墨なら天地を逆にすれ

ばドブ ∞ ミリで印刷できま
すが、墨を他のツボで刷り
たい方は、ドブを12ミリ
以上に大きくして印刷して

ください。)

⑨レタープレス(輪転・ま
たは間歇輪転式凸版印刷)

使用原紙 アート紙・青グ
ラシンセパレータに限る

(セパを剥がさずに刷り色
を評価しますのでご注意ください
ださい)糊の種類、原紙メ
ーカーは問わず。

刷り色 C・M・Y・K

色刷り。刷り順は問いませ
ん。今回はあえて色サンプ
ルを供給しません。ご自身
の判断でカラーバランスを
決めてください。
通し回数 一回 通し方向
問わず。

⑧⑨部門とも製版時におけ
るデータの補正は可とする
コンテストに台紙、及び
規定課題カンプは、組合事
務局まで御請求ください。

応募締め切りは七月二十
日联合会必着ですので、お
急ぎ下さい。

応募の詳細については連
合会ホームページにて。

<http://www.seal.gr.jp/>

規定課題のデザイン。



■**男の更年期障害とは**
 男性更年期障害では、テストステロン(男性ホルモン)の減少によって起きた生理的なバランスの崩れが、さまざまな症状を引き起こします。

若さが失われて老いに向かうことを意識し始める年代です。それまでの生き方を振り返り、心の中に迷いも生じます。経済的な不況でリストラの危機にさらされて、将来への不安を抱えることもあるかもしれせん。

テストステロンの減少でEDになると自信喪失につながりがちです。自殺者が多いのもこの年代の男性です。もともと悩みの多い年代に、更年期のテストステロンの減少が拍車をかけてしまうのです。

めまい、動悸、全身倦怠感、頭痛、頭重感、多汗、のぼせ、下痢、呼吸困難など、自律神経症状も多岐にわたり発生します。抑うつ状態や不安、緊張といった不安定な精神状態が誘発してしまう症状です。

1つの重要な症状は、うつ状態です。どん底の気分です、何もやる気が起きず、人間関係も煩わしく、新聞を読むのも面倒くさい。それはテストステロンが低下したために生じている症状なのですが、もともと四〇〜五〇歳の男性にはうつ病やうつ状態が発生しやすいのです。

■**症状悪化させる不眠症**

さらに男性更年期障害によく併発するのが不眠症です。不眠症の種類には、寝つきの悪い「入眠障害」、睡眠中にすぐ目覚めてしまう「中途覚醒」、まだ眠いの

に朝早く目が覚めてしまう「早朝覚醒」などがあります。十分な睡眠がとれないと疲労が蓄積し、気分が落ち込み、免疫機能が減少し、

学習、意欲に悪影響が出たりします。

テストステロンは睡眠中に産生されるので、健全な睡眠がとれない状態ではテストステロンがますます減少し、男性更年期障害はさらに悪化してしまいます。

このように、テストステロンの減少した男性更年期障害の状態を放置しておく、さまざまな病気が合併して重症化する危険性が高まります。

■**ライフスタイルの改善**

四〇〜五〇歳の男性になると若いころと同じ食事を摂取していても太ってしまう人を多く見受けま

す。太りやすくなる原因の1つは、男性ホルモン(テストステロン)の減少です。テストステロンが減少すると脂肪の代謝機能が低下して、内臓型肥満が生じやすいのです。まず行うべ

きは摂取カロリーの制限です。脂質を減らし、食物繊維を増やすなどの工夫が必要

■**生活の質を高める**

男性更年期障害を予防し改善するためには、生活に満足感があり **QOL** が高く保たれることが必要です。

QOLとはクオリティ・オブ・ライフの頭文字を取った言葉で、生活の豊かさだけでなく心や精神的にも満たされる概念のことです。仕事のストレスが多いため喫煙の本数が増えたり、過飲、過食に陥りがちな中高年が多くみられます。

生活の満足度を高めるためには、仕事一辺倒ではなく、夫婦関係や家庭を大切に、周囲の人びとのコミュニケーションを充実させることや、趣味を楽しむことも必要ではないでしょうか。

ライフスタイルを改善して、心身両面から **QOL** を高めましょう。

【**参考資料**】

<http://www.1oh.jp/about/0>

No137 健康がいちばん!

やっかいな男の更年期障害

原因は男性ホルモンの減少